

平成 28 年 2 月 23 日

各 位

会 社 名 インターライフホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 及川 民司
 (JASDAQ・コード 1418)
 問合せ先
 役職・氏名 広報・IR 室長 川島 仁
 電話 03-3547-3227

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 28 年 1 月 13 日に第 3 四半期決算短信で公表した平成 28 年 2 月期連結業績予想および平成 27 年 10 月 13 日に第 2 四半期決算短信で公表した個別業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

●連結業績予想の修正について

平成 28 年 2 月期 通期 連結業績予想数値の修正 (平成 27 年 3 月 1 日～平成 28 年 2 月 29 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	18,400	470	425	300	14.99
今回修正予想(B)	18,600	200	190	175	8.89
増減額 (B - A)	200	△270	△235	△125	
増 減 率	1.1%	△57.4%	△55.3%	△41.7%	
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 2 月期)	18,325	439	446	291	14.57

●個別業績予想の修正について

平成 28 年 2 月期 通期個別業績予想数値の修正 (平成 27 年 3 月 1 日～平成 28 年 2 月 29 日)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	680	160	140	6.99
今回修正予想(B)	715	85	210	10.67
増減額 (B - A)	35	△75	70	
増 減 率	5.1%	△46.9%	50.0%	
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 2 月期)	560	74	130	6.49

●平成 28 年 2 月期 通期セグメント別の業績予想の修正

(百万円)

	売上高			営業利益		
	今回予想	前回予想	差	今回予想	前回予想	差
工事事業	10,447	11,235	△788	292	471	△179
人材サービス事業	2,212	1,305	907	48	25	23
情報通信事業	2,225	2,110	115	76	75	1
清掃・メンテナンス事業	2,325	2,150	175	115	75	40
不動産事業	235	200	35	130	100	30
その他	1,536	1,520	16	74	55	19
全社・消去	△380	△120	—	△535	△331	—
合計	18,600	18,400	200	200	470	△270

●修正の理由

平成 28 年 2 月期連結業績予想の修正においては、平成 28 年 2 月期第 3 四半期連結累計期間までの売上高 14,076 百万円、営業利益 299 百万円、経常利益 292 百万円、四半期純利益 302 百万円であり、当初の業績予想の達成を見込んでおりました。しかしながら、工事事業において、下記の理由により当第 4 四半期の売上高、営業利益が減少する見込みです。

パチンコ・アミューズメント店舗のデザイン・企画設計施工を行う事業において、当初見込んでいた粗利率の高い不動産仲介、設計といった案件の受注が進まず、また、パチンコ業界における環境の変化（業界規制等）の影響により、当第 4 四半期に計画されていた店舗の改装工事などが、中止または延期される事案が発生し、売上高は、2,946 百万円（計画比 19.3%減）、営業利益 5 百万円（計画比 97.2%減）となる見込みです。

また、音響照明・設備工事等を行う事業において、今期の計画に組み入れていた大型案件が翌期の実施となったこと、見込んでいた案件が受注に至らなかったこと、受注した案件そのものが中止となったことなどにより、売上高は、1,908 百万円（計画比 27.6%減）、営業利益 38 百万円（計画比 78.9%減）となる見込みです。

店舗等の内装工事を行う事業においては、当初第 4 四半期に見込んでいた複数案件が第 3 四半期に前倒して施工されたことにより第 4 四半期は、売上、営業利益が計画を下回ることになりましたが、売上高は、5,593 百万円（計画比 13.0%増）、営業利益 249 百万円（計画比 126.4%増）と、通期においては大幅に計画を達成する見込みであります。

よって、工事事業の売上高は、10,447 百万円（計画比 7.0%減）、営業利益 292 百万円（計画比 38.0%減）となる見込みであり、工事事業を除くセグメントにおいては、売上高 8,533 百万円（計画比 17.1%増）、営業利益 443 百万円（計画比 34.2%増）となる見込みであります。

その他、各社において営業力強化を目的に、積極的な投資（人員増等）や、M&Aに伴うのれん償却費の増加などの影響により、経常利益が減少し前回予想を下回る見込みであります。

以上のことにより、平成 28 年 2 月期連結業績予想は、売上高 18,600 百万円（計画比 1.1%増）、営業利益 200 百万円（計画比 57.4%減）、経常利益 190 百万円（計画比 55.3%減）、当期純利益 175 百万円（計画比 41.7%減）となる見込みであります。

平成 28 年 2 月期通期個別業績予想につきましては、M&A等に伴う借入利息及び社債発行に伴う費用の発生等により、経常利益が前回予想を下回る見込みであります。当期純利益は、投資有価証券の売却益 60 百万円などを計上したことにより計画を上回る見込みであります。

よって、売上高 715 百万円（計画比 5.1%増）、経常利益 85 百万円（計画比 46.9%減）、当期純利益 210 百万円（50.0%増）となる見込みであります。

なお、平成28年1月13日に第3四半期決算短信で公表した配当予想の修正はございません。

連結業績予想及び個別業績予想の修正における、1株当たり当期純利益は、株式給付信託（BBT）導入に伴い資産管理サービス信託銀行株式会社（信託E口）が所有する当社株式を控除対象の自己株式に含めて算出しております。

※上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上